


日常生活自立支援事業をご存知ですか？

福祉サービスを利用したいけれど、どこへ相談したらいいの？

もの忘れが多く、通帳や印鑑、大事な書類などをよくなくしてしまい困っている。



市役所から書類が来ても手続きの仕方が分からない。

お金のやりくりがうまくできず、いつも支払いが滞ってしまう…。

認知症や知的障害、精神障害があり、日常生活に不安を抱える方のために、下記のようなお手伝いができます。

支援内容	利用料
★福祉サービス利用のお手伝いをします ・福祉サービスの利用に関する相談・情報提供 ・福祉サービスの利用料の支払い手続き	1回1,200円 ＊生活保護受給者は無料
★日常のお金の出し入れをお手伝いします ・年金、福祉手当の受領に必要な手続き ・病院への医療費、税金、社会保険料、公共料金等の支払い手続き ・生活に必要な預貯金の出し入れ等の手続き	
★大切な書類等をお預かりします ・銀行の貸金庫で通帳や印鑑、証書などの大切な書類を保管します ※書類預かりのみのサービスは利用できません	月額250円

【問合せ】本部 日常生活自立支援事業担当 (Tel.85-7024)

障害者スポーツの紹介

ツインバスケットボール

ツインバスケットボールは、高低2種類のゴールを使う車いすバスケットボールです。1チーム5人制で、障害の程度や身体の機能に応じて各選手にポイントが割り振られ、11.5点という持ち点が決まっています。低いゴールの周囲が円で仕切られ、ポイント差によってプレーが妨げられないよう工夫されています。ボールを保持して3回以上車いすをこぐ「トラベリング」などの反則を避けるためにも、車いすの操作も重要です。使用するゴールの高さや、プレーする場所が異なるからこそ、幅広い人が参加できるスポーツになっています。



(こどもボランティアスクールで体験した様子)



車いす
使用の
職員発信

車いすと いっしょに

店舗の利用に困難のある方へ
お手伝いします



お気軽にどうぞ

第14回「お店と車いす」

お店に入って実感するのは、店員さんをはじめとした周りの方々の配慮です。たとえば飲食店では、席の確保や、配膳・片付けなどに対応して下さいます。トレーを膝に乗せて車いすをこぐのは危ないので、たいへん助かります。また、買い物会計時にはレジの通路を広げて、受け取りやすいようカウンターから出てきてくださる方もいます。何かと動作に手間取る私にとって、これほどありがたいことはありません。日々感謝の気持ちでいっぱいです。

一方、狭い入口や段差が原因で、やむなく入店するのを諦めたこともあります。愛知県では、そうした悩みを少しでも減らすために「愛知TRY」というボランティア団体が活動しており、私も以前参加しました。外から見えるところに、ステッカーを貼っていただくことにより、お店側からのサポートの意思表示をしていただき、誰にとっても入りやすい場所の目印として役立ちます。現在はコロナ禍で休止していますが、こうした活動が広がって、一人での外出時でも利用できる場所が増えるとうれしいと感じました。(小鹿)